第1回嶺北地域アクションプランフォローアップ会議資料



第3期嶺北地域アクションプランの進捗状況等について

嶺 北 地 域 本 部
平成30年9月12日(水)

# 嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H 3 0 . 9 . 1 2 續北地域本部

# 1 地域アクションプランの上半期の実施状況(総括)

# (1)総評

嶺北地域アクションプラン(24項目)については、嶺北4町村において相互に関連する取組や、 4町村全てに関わる取組が多いことから、常に連携を図りつつ、各町村のまち・ひと・しごと創生 総合戦略等の取組とベクトルを合わせながら推進している。

また、地域アクションプランの取組と連携させた畜産と林業の2つの地域産業クラスターの形成 を、地域への波及効果を生み出すべく進めている。

農業分野では、3町のJA出資法人等が中山間農業複合経営拠点として、昨年度に策定(一法人は策定中)した事業戦略に基づく取組を進めている。

畜産分野では、土佐あかうしの増頭が順調に進んでいるほか、大川黒牛、土佐はちきん地鶏の生産拡大に向けた体制強化を図っている。また、整備された HACCP 対応の食鳥処理・加工施設が稼働したことで、土佐はちきん地鶏の生産から加工・販売までの一貫体制が整いつつあり、これを生かした首都圏等での営業活動に取り組んでいる。

林業分野では、さらなる原木増産に向けて地域内での連携した取組や森林組合への支援に取り組んでいる。また、集落活動センター西峯におけるスギのコンテナ苗の栽培は、今年度から規模を拡大して開始した。

観光分野では、県外企業の監修によるアウトドア拠点施設の整備に向けた取組や、さめうら荘の建設のほか、山岳観光プログラムの磨き上げなどを進めている。また、関西圏などからの教育旅行客が飛躍的に増え、さらなる広域での民泊受入体制の強化を進めている。さらに、さめうら湖を活用したカヌーのまちづくりを進め、嶺北高校の魅力向上も含めた地域の活性化や合宿誘致、集落活動センターと自然体験型観光の連携に向けた取組など交流人口の拡大につながる環境整備に着手している。あわせて、平成31年度に開催する「アウトドア」「生活文化」「食」をテーマとした地域博覧会「土佐れいほく博」の開催に向けた準備も着実に進めている。

そのほか、新たにアクションプランとして追加した地元産の酒米にこだわった日本酒の国内外への販路拡大に向け、蔵元の新工場の整備計画づくりや地元酒米農家の確保に取り組んでいる。

# (2) 具体的な動き

(2)具体的な動き	
項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
■No.2 JA 出資型法人 ((株) れいほく未来)	[目標]
を核とする地域活性化の取組(嶺北地域全	○研修による新規就農者数(雇用者数含む)
域)	H24~27 実績(累計):8 人
	→ H29 目標:3 人(実績:2 人)
《事業主体》	→ H30 目標:3人 → H31 目標:12人(H28~31 累計)
・(株)れいほく未来	○農業経営事業(園芸)売上高
・JA 土佐れいほく	H26 実績:23,670 千円
	→H29 目標:37,300 千円(実績:27,745 千円)
※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラス	→H30 目標:40,000 千円 → H31 目標:50,000 千円
ターによる地域の活性化)	○米粉等の販売額
	H26 実績:1.04 億円
	→ H29 目標:1.1 億円(実績:1.0 億円)
	→ H30 目標:1.1 億円→ H31 目標:1.1 億円
	[取組状況]
	○研修による新規就農者数(雇用者数含む): 0 人
	○農業経営事業(園芸)売上高(5月末): 793千円
	○米粉等の販売額 (6 月末) : 23, 340 千円 (前年同期比 101%)
	・農業経営事業(園芸)の打合会:3 回
	・インターンシップ事業実施:1回、3人参加
	・栽培技術向上のための米なすチーム会:3回
	[課題と今後の対応]
	・インターンシップ生及び研修生の募集、受入
	⇒嶺北高校との連携、インターンシップ等による農業に
	意欲のある研修生の確保及び独立自営就農にむけた
	支援
	・栽培技術の習得
	⇒野菜栽培管理技術の向上支援
	・経営の安定・強化
	⇒品目の集約、労働力に応じた栽培計画の作成支援
	・米粉製品の生産効率化
	⇒作業機械の導入(こうち農業確立総合支援事業)
■No.6 土佐あかうしの競争力の確保による	[目標]
肉用牛産業の再興(本山町、土佐町、大豊	○土佐あかうしの販売額
町)	H26 実績:1.5 億円
	→ H29 目標:2.8 億円(実績:2.9 億円)
《事業主体》	→ H30 目標:2.8 億円 → H31 目標:3.0 億円
・JA 土佐れいほく	[取組状況]
・(株)れいほく未来	○土佐あかうしの販売額(6 月末): 0.7 億円
・肉用牛生産組合	(前年同期比 121%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
・本山町	・(株)れいほく未来飼養頭数 (6 月末): 284 頭
・土佐町	(繁殖雌牛 125 頭、肥育 118 頭、子牛 41 頭)
・大豊町	・レンタル畜舎整備事業:土佐町1戸
	・受精卵移植で生まれた子牛の取引(4月、6月)
	[課題と今後の対応]
※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラス	・繁殖雌牛及び肥育牛のさらなる増頭
ターによる地域の活性化)	⇒繁殖雌牛導入事業及び土佐あかうし増頭対策事業
	(受精卵移植、キャトルステーション飼育) の継続実施
	・飼育担当者及び飼養管理技術の向上
	⇒0JT の徹底(定期的な勉強会の開催)
	・堆肥の活用
	⇒堆肥の活用に向けた企業との連携(農商工連携事業)
■No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用	[目標]
した畜産業の活性化 (大川村)	○黒牛の販売額
	H26 実績:34,000 千円
《事業主体》	→ H29 目標:50,000 千円(実績:53,413 千円)
・(株)むらびと本舗	→ H30 目標:50,000 千円 → H31 目標:54,900 千円
・(一社) 大川村ふるさとむら公社	○出荷羽数
・大川村	H26 実績:5.2 万羽
	→ H29 目標:8.0 万羽(実績:7.6 万羽)
	→ H30 目標:8.0 万羽 → H31 目標:12.5 万羽
※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラス	[取組状況]
ターによる地域の活性化)	○黒牛の販売額(6月末): 13,812千円(前年同期比98%)
	○出荷羽数(6 月末): 1.9 万羽(前年同期比 99%)
	・大川村PT産業振興部会の開催:2 回(5/15, 8/2)
	・大川村の活性化に向けた大川村・高知県連携会議での協
	議:1回(6/15)
	・産振総合補助金活用による食鳥処理・加工施設の稼働
	・産振アドバイザーの活用(食鳥処理及び流通の検証、販売
	戦略の検討等): 2 回(5/11, 7/19)
	[課題と今後の対応]
	・繁殖雌牛の増頭
	⇒一貫生産体制における繁殖成績のさらなる向上
	・円滑な食肉処理体制の早期構築
	⇒処理工程の改善と職員の技術向上
	・はちきん地鶏のブランド化
	⇒首都圏等における営業活動の強化
	(営業担当人材の増強と外商公社との連携)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	・収益性確保に向けた増羽体制及び施設の整備
	⇒方田鶏舎の稼働に向けた整備
	・堆肥の活用
	⇒新たな堆肥舎建設と活用方法の検討
■No.8 嶺北地域における林業クラスター化	[目標]
の取組(嶺北地域全域)	○素材生産量
	H26 実績:98,515 m³
《事業主体》	→ H29 目標:120,000 m³ (実績:110,963 m³)
・森林所有者	→ H30 目標:120,000 m³ → H31 目標:130,000 m³
• 自伐林家	[取組状況]
• 森林組合	○素材生産量(6 月末): 26,824 m³(前年同月比 91%)
• 素材生産事業体	・木材増産推進プロジェクトチーム会:1 回
・高知おおとよ製材(株)	・森林組合支援ワーキング:1回
• 嶺北広域原木安定供給協議会	・素材生産事業体の増産に向けた聞き取り、協議
・大豊町	(森林組合、事業体計 12 事業体)
・本山町	<ul><li>間伐関係補助事業の周知</li></ul>
・土佐町	・ストックヤード造成工事
・大川村	   (H28.4月着手、進入道完成、造成作業/進捗率は6月末現
	在で全体の 65.5%)
	・原木(C 材)の安定供給に向けた各種制度の普及啓発
	・嶺北広域原木安定供給協議会:1 回
※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業	  [課題と今後の対応]
クラスターによる地域の活性化)	・搬出間伐の生産性向上
	⇒森の工場を中心とした事業地の集約化
	<ul><li>・皆伐事業地の拡大に伴う再造林の推進</li></ul>
	   ⇒伐採・再造林の一貫施業の推進、コンテナ苗の普及
	<ul><li>・林業事業体の体質強化</li></ul>
	→木材増産に向けた計画的な生産(皆伐・搬出間伐)
	<ul><li>・林業従事者及び担い手の育成確保</li></ul>
	・原木の安定供給
	   →嶺北広域原木安定供給協議会の取組
	必要となる原木量の確保並びに供給体制の整備
	コスト及び需要供給のバランスの調整に向けた
	ICT化の推進等
■No.9 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別	[目標]
販売)の促進及び建築人材の育成	○木材の出荷量:
(嶺北地域全域)	H26 実績:744 ㎡
	→ H29 目標:1,200 m³ (実績:1,031 m³)
	→ H30 目標:1,200 m³ → H31 目標:2,000 m³

# 項目 取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 [取組状況] 《事業主体》 ・(株)SUN SHOW ○木材の出荷量(6月末):157.58 m³(9棟)(前年同期比37%) ・レイホク木材工業(協) ・かがわ家博出展予定 (8/18、19) ・吉野川リビング(協) [課題と今後の対応] ・木がつなぐ森と人の未来協議会(れいほく ・嶺北材の販路拡大 スケルトン) ⇒エンドユーザーや建築士等に対する嶺北材のPRを ・本山町 強化 • 十佐町 ・ 香川県を中心とした営業活動の展開 ⇒ウッディフェスティバル出展予定(10/6,7) ※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業 クラスターによる地域の活性化) ■No. 10 特用林産物 (シキミ、サカキ) の販 [**目標**] 売促進 (嶺北地域全域) ○販売数量 H26 実績:2,350kg → H29 実績:2,500kg (実績:336.5kg) 《事業主体》 → H30 目標:2,500kg → H31 目標:2,500kg • 生産者 [取組状況] • (一財)本山町農業公社 ○販売数量(6月末):0kg • 土佐町森林組合 ・生産者の実態把握、生産増加のための訪問:2回 ・本山町農業公社との打合せ:1回 [課題と今後の対応] ※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業 農業公社の人員体制の整備 クラスターによる地域の活性化) ⇒人材の確保に向けた検討 ・生産量の増加 ⇒栽培放棄地での生産委託の拡充 農業公社等による集出荷の検討 ・品質の向上 ⇒生産者に対する勉強会の開催 ■No.11 嶺北地域の特産品販路拡大への支 「目標」 援(嶺北地域全域) ○県外飲食店等との直接取引による販売額 H27 実績:0 円 《事業主体》 → H29 目標:16,000 千円 (実績:12,819 千円) ・(株)れいほく未来 → H30 目標:16,000 千円 → H31 目標:85,200 千円 ・NPO 法人土佐さめうら観光協会 ○ポータルサイト年間売上高 ・ポータルサイト利用事業者 H26 実績:564 千円 → H29 目標:700 千円 (実績:252 千円) ・土佐町 • 本山町 → H30 目標:700 千円 → H31 目標:1,200 千円 ・大豊町 [取組状況] • 大川村 ○県外飲食店等との直接取引による販売額(6月末) : 4,450 千円 (前年同期比 492%)

○ポータルサイト売上高(6月末):42千円(前年同期比68%)

# 項目 取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応 ※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラス ・受発注管理システムを活用した地産外商の実施 ターによる地域の活性化) •直接取引飲食店等:40件 ·直接取引関係生産者等:15件 ・ホームページへのアクセス数 (6月末):854件 (前年同期比84%) [課題と今後の対応] ・道の駅を拠点とした新たな販売モデルの構築 ⇒地産地消の取組との連携 (農産物の量的確保) ・効率的な集荷システムの構築 ⇒新たな集荷スペースの設置に向けた検討 ・ポータルサイト売上高の増加 ⇒ポータルサイトのリニューアルの検討 ⇒通販商品の確保 ■No.12 クラウドファンディングを活用し 「目標〕 た地域活性化(嶺北地域全域) ○調達額(H28~31 累計) H27 実績:0 円 《事業主体》 → H29 目標:2,100 千円 (実績:1,077 千円) ・金融機関、高知大学、町村等で構成する協 → H30 目標:5,000 千円 → H31 目標:15,000 千円 議会 ○嶺北地域のプロジェクト数 H27 実績:0件 → H29 目標:3件 (実績:1件) • 商工会 • 本山町 → H30 目標:3 件 → H31 目標:5 件 • 大豊町 「取組状況] ・土佐町 ・FAAVO 高知運営体制に係る協議 (5/31) • 大川村 ・高知銀行嶺北及び豊永支店との情報共有会議 (7/27) [課題と今後の対応] ・運営体制の変更による今後の運営方法 ⇒地域での活用を促進する運営方法の検討 ■No.13 ばうむ合同会社による地域資源(木 |「目標] 材・米)活用の取組(本山町) ○木工製品全般の売上高 H26 実績:33,000 千円 《事業主体》 → H29 目標:79,000 千円 (実績:36,634 千円) ・ばうむ合同会社 → H30 目標:84,000 千円 → H31 目標:89,000 千円 • 本山町 ○焼酎の販売額 H26 実績: 4,655 千円 → H29 目標:11,700 千円 (実績:5,985 千円) ※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業 クラスターによる地域の活性化) → H30 目標:15,650 千円 → H31 目標:19,590 千円 [取組状況] ○木工製品全般の売上高(6月末):9,428千円 (前年同期比 122%)

○焼酎の販売額(6月末):1,134千円 (前年同期比 67%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	〔木工製品〕
	・販路拡大・販売促進活動
	取引先累計:172件(6月末)
	「販促 Expo」への出展・商談(7 月)
	「かがわ家博」での販促活動(8月)
	・親子学習机づくり等ワークショップの開催(6月末)
	: 3 回・12 組 39 人
	〔米製品〕
	・販路拡大・販売促進活動
	取引先累計(6月末):230店舗
	販売本数 (6 月末): 870 本
	・イベント出展 (6月末):6回
	・ひろめ市場での定期的な試飲販売(5月~)
	・シンガポールでの営業(6月)
	・新商品「土佐泡盛 REIHOKU 35% 玄米&白米仕込」の限定
	販売の開始(6月~)
	[課題と今後の対応]
	・売上の増加
	⇒営業活動の強化、海外へのアプローチ、商品開発
■No.14 碁石茶を中心とした加工品ビジネ	[目標]
スの展開 (大豊町)	○碁石茶関連商品の総販売額(1~12月)
	H26 実績:0.1 億円
《事業主体》	→ H29 目標:0.18 億円(実績:0.28 億円)
· 大豊町碁石茶協同組合	→ H30 目標:0.32 億円 → H31 目標:0.6 億円
・(株) 大豊ゆとりファーム	[取組状況]
・大豊町	○碁石茶関連商品の総販売額(1~4月): 0.08億円
	(前年同期比 70%)
	・販促活動
	見本市への出展(4回、延べ11日)
	・H30 年度生産開始 (H30.5~)
	・地域おこし協力隊の導入(H30.4~新規1名)
	・機能性表示申請に向けた関係機関との協議:4回
	(H30. 4∼)
	[課題と今後の対応]
	・新規生産者の育成・確保
	⇒担い手確保や支援体制の構築に向けた検討
	・営業体制の強化
	⇒ハローワークでの人材募集

# 項目

# ■No.15 嶺北材を活かしたオリジナル木工 品の製造・販売による地域活性化(土佐町)

# 《事業主体》

- ・さめうらこむ
- · 犬小屋製作工房 K
- 土佐地区商工会

※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業 クラスターによる地域の活性化)

# 取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応

#### [目標]

(犬小屋製作工房 K)

○注文数

H27 実績:500 件 → H29 目標:600 件 (実績:468 件)

→ H30 目標:600 件 → H31 目標:750 件

(さめうらこむ)

○従業者数

H27 実績:4 人 → H29 目標:5 人 (実績:5 人)

→ H30 目標:5 人 → H31 目標:6 人

### [取組状況]

○注文数 (6 月末):118 件 (前年同期比 74%)

〔犬小屋製作工房 K〕

○従業者数:5人 〔さめうらこむ〕

〔犬小屋製作工房 K〕

・オンライン及び紙面での商品 PR・販売

[さめうらこむ]

・オンラインでの商品 PR・販売

## [課題と今後の対応]

〔犬小屋製作工房 K〕

・市場ニーズの変化

⇒ニーズに応じた新たな商品の開発

[さめうらこむ]

・販路の拡大

⇒新たな商品の開発

# ■No.16 嶺北地域で140年間続く酒蔵の地産 外商を核とした地域活性化(土佐町)

#### 《事業主体》

· 土佐酒造(株)

#### [目標]

○売上高

H28 実績:135,000 千円

→ H30 目標:145,000 千円 → H31 目標:160,000 千円

○地元産原料米調達量

H29 実績:77 t → H30 目標:85 t → H31 目標:95 t

○従業者数

H29 実績:13 人 → H30 目標:14 人 → H31 目標:16 人

### [取組状況]

○売上高 (6月末): 30,172 千円

○地元産原料米調達量(6月末):0t

○従業員数(6月末):14人

・未来戦略本部長の採用(4月)

・酒米増産に向けた農家の確保(4月~)

・産振総合補助金の採択申請の準備・申請(4~6月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	・産振総合補助金を活用した新工場の建設(審査会 7/26)
	(総事業費:131,597 千円 補助金申請額:50,000 千円)
	・海外等のイベントへの参加
	Food and Hotel Asia2018(シンガポール)への出展
	$(4/24\sim27)$
	四国×酒国 2018 への出展(5/27)
	東京・パリ・マドリッド・台湾での桂月酒の会の開催
	(4月~)
	・Kura Master2018(フランス) プラチナ賞及び金賞受賞
	(6月)
	[課題と今後の対応]
	・販路拡大に伴う商品の生産体制の整備
	⇒産振総合補助金を活用した新工場の建設
	・市場ニーズに対応した衛生管理
	⇒保健所との協議
■No.17 嶺北地域の連携による交流人口の	[目標]
拡大 (嶺北地域全域)	○公共関連宿泊施設での宿泊者数
	H26 実績:11,461 人
《事業主体》	→ H29 目標:16,000 人(実績:15,721 人)
・嶺北地域観光・交流推進協議会	→ H30 目標:17,900 人 → H31 目標:29,000 人
・本山町	○民泊受入世帯数
・大豊町	H26 実績:49 世帯 → H29 目標:90 世帯 (実績:83 世帯)
・土佐町	→ H30 目標:105 世帯 → H31 目標:120 世帯
・大川村	[取組状況]
	○公共関連宿泊施設での宿泊者数(6 月末): 3,597 人
※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラス	(前年同期比 99%)
ターによる地域の活性化)	〇民泊受入世帯数(6 月末): 81 世帯(前年同期比 96%)
	・教育旅行の受入(7月末): 10件、715人
	・グルメMAP、広域観光パンフレットの配布(4月~)
	・嶺北地域4町村観光関係課長会:2回
	・嶺北地域観光·交流推進協議会:1回
	・土佐れいほく博開催に向けた協議
	幹事会の開催:2回
	部会(広報誘客部会、企画受入部会)の開催:3回

[課題と今後の対応]

・教育旅行の推進体制の整備 ⇒地域の活動者や行政との連携による研修会の開催

・旅行会社等への教育旅行のセールス (6月末):28社

⇒農家等民泊受入家庭の確保

・土佐れいほく博口ゴマーク決定(6月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒安全管理や体験交流メニュー等民泊の品質向上対策
	・土佐れいほく博の開催に向けた準備
	⇒土佐れいほく博推進協議会の運営支援
	⇒観光資源の発掘、既存プログラムの磨き上げ
	⇒地域観光情報の効果的な収集と発信
	・広域観光を担うコーディネート組織の機能強化
	⇒土佐れいほく博の開催を通じて必要な機能の検討
■No. 18 嶺北広域観光アウトドアの里づく	[目標]
り (嶺北地域全域)	○アウトドア拠点施設の利用者数
	H27 実績:0人 → H29 目標:-
《事業主体》	→ H30 目標:- → H31 目標:50,000 人
・本山町	○白髪山・工石山への観光客数(H28~31 累計)
・大豊町	H24~26 累計:75 人 → H29 目標:10 人(実績:41 人)
・土佐町	→ H30 目標:90 人 → H31 目標:200 人
・大川村	[取組状況]
·本山町白髪山·工石山保全活用推進協議会	○白髪山・工石山への観光客数(6 月末): 12 人
	・本山町アウトドアの里づくり推進協議会(5月)
	・地域事業者の育成及び受入体制の充実のためのインスト
	ラクターやガイド研修(6月末):8回
	・本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会 総会(6月)
	・白髪山登山モニターツアーの開催(6月)
	・アウトドアの里拠点施設造成工事の開始(6月~)
	[課題と今後の対応]
	・アウトドアの里拠点施設建設に向けた土地造成の早期完成
	⇒スムーズな工事請負契約手続きや関係者間の連絡調
	整・情報共有
	・嶺北広域での事業展開
	⇒交付金を活用した広域連携事業の実施
	⇒広域観光組織の機能強化
	・登山ルートの整備及びガイド育成
	⇒アウトドア拠点施設整備の取組と連動して実施
■No.19 嶺北地域における山岳観光の拠点	
整備(嶺北地域全域)	  ○白滝の里施設利用者数
	H26 実績: 6, 175 人
《事業主体》	→ H29 目標:11,470 人(実績:9,977 人)
・大川村	→ H30 目標:11,470 人 → H31 目標:15,000 人
・(一社) 大川村ふるさとむら公社	[取組状況]
<ul><li>・本山町</li></ul>	○白滝の里施設利用者数 (6 月末): 2,155 人
・大豊町	(前年同月比:64%)
・土佐町	・日本ロングトレイル協会加入(4月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	・石鎚山系連携事業協議会(4月)
	・石鎚山系連携事業協議会分科会:2回
	・大川村プロジェクト観光・交流部会の開催:2回
	・石鎚山系ルートマップ及びグレーディングを石鎚山系ウェ
	ブサイトへ掲載、登山アプリでの配信(4月~)
	・人材の育成・確保
	地域おこし協力隊の募集(4月~)
	民間企業との業務委託契約締結(4月)
	・白滝の里山歩きツアーの実施(6 月末)
	: 4 回開催、延べ 14 人参加
	・自然を活用した募集型体験ツアー(田舎暮らし体験)の
	実施(7月末):2回、11名参加
	・白滝の里施設改修基本計画策定委託業務契約相手先候補者
	決定 (7月)
	[課題と今後の対応]
	・新規プログラムの開発及び既存プログラムの磨き上げによ
	る山岳観光の推進
	⇒アドバイザーの助言を活かした周遊ルートの検討
	⇒ダム湖面を活用した体験メニューの開発
	⇒石鎚山系連携事業協議会との連携
	・人材の育成・確保(プロジェクトリーダー等)
	⇒地域おこし協力隊の活用、民間企業を活用した専門研
	修や OJT 研修の実施
	・白滝の里改修に向けた基本計画の策定
	⇒委託先業者の早期決定
■No. 20 さめうら湖の活用をはじめとした	[目標]
スポーツツーリズムの振興(嶺北地域全域)	○さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数
	H26 実績:2万人 → H29 目標:2.3万人(実績:2.2万人)
《事業主体》	→ H30 目標:2.4 万人 → H31 目標:2.5 万人
・民間事業者(NPO 法人さめうらプロジェクト)	[取組状況]
等	○さめうら荘利用者数 (6 月末):3,722 人 (前年同期比 62%)
・土佐町	・イベント参加者数:延べ51名
・大川村	スポーツフィッシング大会等:4回
・本山町	・さめうら荘新メニュー開発に係る講習:2回
・大豊町	・さめうら荘建設(9月末竣工予定)
	・ワカサギ釣り導入に向けた環境整備(4月~)
	・浮き桟橋、カヌーレーン等の整備に向けた調整 (5月~)
※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラス	・カヌーのまち嶺北推進協議会総会(6/27)
ターによる地域の活性化)	・全中カヌー大会での合宿誘致に向けた営業(7月)
	・早明浦カヌーアカデミー実施(週2回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	[課題と今後の対応]
	・年間を通して利用者が訪れる取組の構築
	⇒カヌー艇庫等練習環境整備の検討・財源の確保
	⇒湖面・湖畔アクティビティの観光商品化、受入体制の
	検討
	⇒湖面利用に関する調整
	⇒土佐れいほく博に向けた受入体制の整備
■No.21 嶺北地域の連携による移住促進の	[目標]
取組(嶺北地域全域)	○移住者数(H28~31 累計)
	H24~26 累計:214 人
《事業主体》	→ H29 目標:80 人(実績:82 人(66 件))
・NPO 法人れいほく田舎暮らしネットワーク	→ H30 目標:80 人 → H31 目標:280 人
・本山町	[取組状況]
・大豊町	○移住者数 (6 月末):23 人 (15 件) (前年同期比:70%)
・土佐町	・移住促進連絡会の開催:3回
・大川村	・移住相談受付件数:86件
	・空き家調査件数:13件
	・お山のてづくり市の開催:1回
	・県外の移住相談会への参加:2回(大阪・東京)(6月)
	・土佐町 Web サイト「とさちょうものがたり」による地域情
	報の発信
	・新規単身用町営住宅の入居者募集(H30.6 満室)
	[課題と今後の対応]
	・空き家の確保
	⇒空き家改修補助金の活用促進・移住相談等増加への取
	り組み
	⇒勉強会の開催や、CCRC、教育魅力化、起業支援(チャ
	レンジショップ等)など、新たな人の流れの構築
	・大川村における移住支援体制の確立
	⇒集落活動センター結いの里の機能拡充
■No.23 大豊町西峯地区におけるビジネス	[目標]
創出による地域活性化の取組(大豊町)	○スギ苗木生産本数
	H27 実績:1,920 本
《事業主体》	→ H29 目標:2万本 (実績:0本 (枯損) ※)
· 西峯地区活性化推進委員会	→ H30 目標:4万本 → H31 目標:4万本
・大豊町	※H29 出荷本数:12,500 本 (H27、28 年度播種)
	[取組状況]
	・コンテナへの移植(播種:2月):3.0万本(5月)
※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業	・育苗ハウス整備 (2 棟目) (5 月)
クラスターによる地域の活性化)	<ul><li>・播種(8月)及びコンテナへの移植(9月):1.0万本</li></ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	[課題と今後の対応]
	・移植作業の効率化
	⇒油圧駆動キャビティ培土圧入機の導入検討
	⇒新たな労働力の確保
	・発芽不良及び移植後の苗の生育不良
	⇒勉強会等の開催による技術向上
	⇒温度センサー等管理システムの設置の検討
	<b>⇒</b> かん水作業の効率化(スプリンクラー改良)
	・継続的な販売先の確保
	⇒森林組合等事業者との協議の継続
■No.24 集落活動センターいしはらの里に	[目標]
よる地域活性化の取組	○宿泊者数(延べ)
(土佐町)	H28 実績:0人 → H30 目標:100人 → H31 目標:500人
	○林業研修者(H28~31 累計)
《事業主体》	H27 実績:0人 → H29 目標 33人(実績:55人)
・いしはらの里協議会	→ H30 目標:60 人 → H31 目標:60 人
・合同会社いしはらの里	[取組状況]
・土佐町	○林業研修者(6月末):0人
・民間事業者((株)FPI)等	〔交流人口の拡大〕
	・いしはらの里協議会総会での事業説明(4月)
	・合同会社いしはらの里総会での事業説明(5月)
※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業	・中山間地域対策課アドバイザーとの協議(6月)
クラスターによる地域の活性化)	・産振アドバイザーの派遣(7月)
	・城西館との連携による大手旅行会社ツアー受入れ(2回)
	・中山間地域対策課アドバイザーの派遣(7月)
	・基幹ビジネス確立支援事業を活用した施設改修に向けた
	事業計画の策定(8月)
	[課題と今後の対応]
	〔交流人口の拡大〕
	・受入体制確立に向けた検討
	⇒世代を超えた関係者(地域住民等)の連携
	⇒宿泊客確保に向けた情報発信
	⇒体験メニュー及び土産物等の開発
	〔森の教習所〕
	・林業研修者の確保
	⇒民間事業者が主催する林業インターンシップ事業との 連携
	→民間事業者 (FPI)、移住支援団体等との連携による広報
	の強化、Facebook 等による情報発信

- 2 平成30年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業) 該当無し
- 3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目該当無し
- 4 県民参画に向けた取組
  - ・土佐町森林組合理事会での第3期産業振興計画 ver.3の説明(4/16)
  - ・土佐町地区長会での第3期産業振興計画 ver.3の説明 (4/20)
  - ・土佐れいほく農協理事会での第3期産業振興計画 ver.3の説明(4/24)
  - ・大川村部落長会での第3期産業振興計画 ver.3の説明 (4/25)
  - ・大豊町区長会での第3期産業振興計画 ver.3の説明 (4/26)
  - ・大豊町商工会総会での第3期産業振興計画 ver.3の説明 (5/23)
  - ・本山町商工会総会での第3期産業振興計画 ver.3の説明(5/24)
  - ・土佐町商工会総会での第3期産業振興計画 ver.3の説明 (5/25)

# 5 相談案件: 4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	農商工	県外出資法人による畜産事業への参入について
2	4/25	農業	果実酒の原料生産について
3	5/8	農業	6次産業化による加工品の開発
4	6/7	産業	再生可能エネルギーに関して